

#### 4. 内視鏡取り扱いのスキル向上を目指して

～外部業者による内視鏡機器取り扱い調査を取り入れて～

社会医療法人同心会 古賀総合病院

内視鏡技師 ○外山 道子、田中 麻衣、谷下 雄紀

若水まゆみ、黒 木敏子

看護師 川越 博美

##### 【はじめに】

当科は、配属されるスタッフの半数が内視鏡未経験者であり、内視鏡取り扱いの指導は院内マニュアルに準じて実施してきた。しかし、指導する有資格者の指導方法の相異やマニュアルに記載されていない手技など個人の技術に差があることが、内視鏡機器の故障原因分析から判明し、外部調査を導入した。外部調査を導入した結果、内視鏡の取り扱い、洗浄について個々のスキルを知ることができ、継続したスキル向上への取り組みが定着した。

##### 【目的】

内視鏡取の取り扱いに関するスキル向上を目指して、外部調査を導入した結果を報告する

##### 【方法】

1. 外部に調査を依頼
2. 外部調査は2017年7月～2018年2月迄に3回実施(対象者:看護補助者1名を含む6名)
3. 調査員1～2名が、チェック表を用いて対象者を評価
4. 調査結果は、報告会にて全体に報告と部署長及び個別に結果通達。問題点に対して、改善策を検討実施

##### 【調査報告と対策】

1回目の不適合は、①検査前の点検不備②ベットサイド洗浄時のウォータージェットの不十分な送水③シンク内洗浄時の不完全なボタンブラッシング④ノズル開口部の不適切なスポンジ洗浄⑤内視鏡洗浄機から取り出し時の先端保護不備の5項目。2回目の不適合は、①シンク内洗浄時の不完全なボタンブラッシング②内視鏡挿抜時の粗雑な動作の2項目。3回目の不適合は、①シンク内洗浄時の不完全なボタンブラッシングの1項目。3回目の調査報告会では、1回目、2回目、同様にボタンブラッシングに対しての指摘があった。何度も指摘があった不完全なボタンブラッシングの項目は、手技を再確認し演習をした。

(図1) さらに、意識付けの為に洗浄区域にブラッシング手順を張り出した。(図2)

図1

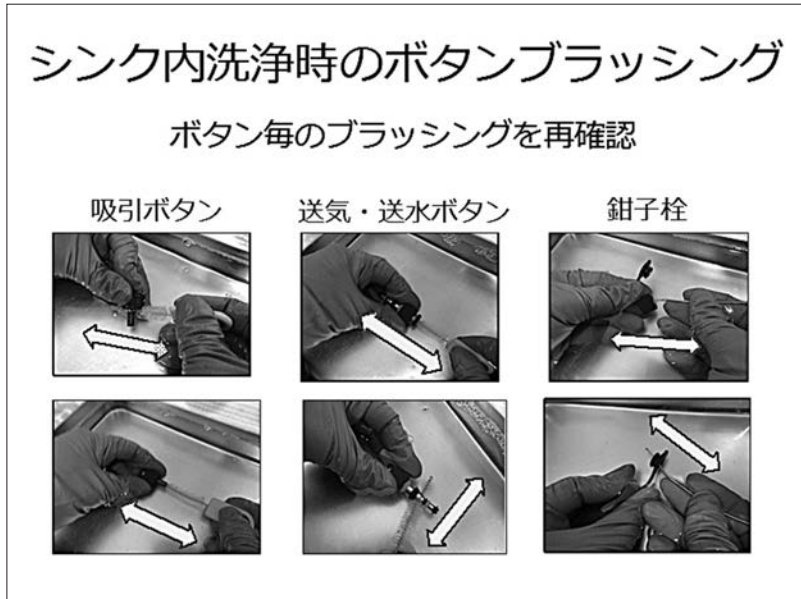


図2



**【結果】**

外部調査を重ねるごとに結果は良くなっていった。調査を継続的に実施することで、自分たちでは気づかない、細かな問題点が抽出された。報告会にて各個人に調査結果を配布することで、自己の未熟な部分をチェック表で確認できた。このように外部調査の方法が定着していった。

### 【考察】

何度も指摘された項目から、勉強会等の机上による一方向の教育ではなく、色々な角度から自ら考えられるように教育する事が重要であるということに気づかされた。外部調査を重ねるごとに、結果が良くなったことは、個別評価を受け自分の能力を知り、未熟点に応じた教育を繰り返した事で意識が上がり結果に反映されたと考える。外部調査、問題点の抽出、改善策の検討、実施を繰り返したことで内視鏡機器取り扱いに関するPDCAサイクルが構築され、スキル向上に繋がったと考える。

### 【結語】

現在も外部調査を継続しており、2019年2月までに4回実施した。今後は、急なスタッフの異動にも対応できるように院内マニュアルの充実も図り、定期的な外部調査を継続しながら、スキルの維持・向上に努め、安全な医療を提供していきたい。

### 【参考文献】

- 1) <https://search.yahoo.co.jp/image/search?p=PDCAアクセス>
- 2) 鈴木さつき 村田弘美：直接観察法を用いた手指衛生と手袋着脱のタイミングの遵守率上昇に向けた取り組み 環境感染誌 Vol.29,no.4.2014 P277

【連絡先 〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木1479-1 TEL 0985-39-8888】